

かもめ便り

社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院
理事長兼院長 福永 明広

シーガル病院

検索

記事紹介

ナニコレ珍百景	1面
松下先生退職式	2面
クリスマスイルミネーション	2面
ホームページリニューアル	2面
避難訓練	3面
心理実習生インタビュー	3面
Dr.sエッセイ	4面

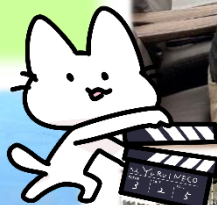
【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)

イベント

ナニコレ珍百景に登録されました

テレビ朝日系列で毎週日曜日の19時に放送されている「ナニコレ珍百景」という番組に当院が採用され、珍百景に登録されました。

当院が船でしか行けない病院という珍しさ、創立されるまでの歴史を評価され、この度採用されました。



10月2日(日)にオンエアされたのですが、取材に来られたのは9月16日(金)でした。約4時間ほどの取材でしたが、撮影当日は天候にも恵まれ、当院や阿波井神社の撮影、そしてドローンでの撮影も行っていました。

バラエティー番組であったこともあり、放送内容には若干のコメディもありましたが、当院の魅力を十分にアピールできる内容だったと思います。特にドローンから撮影された映像はとてもきれいで、当院が自然豊かな場所に在ることを改めて実感しました。



シーガルニュース

松下先生退職式について

9月28日(水) 16年間医師として勤務していました松下先生の退職式が行われました。その様子を掲載いたします。

また、松下先生から退職の挨拶をいただきました。最終ページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



イベント

クリスマスイルミネーションを設置しました



12月5日(月) 鳴門シーガル病院の玄関前にクリスマスイルミネーションが登場しました。職員が飾り付けを行い、午後4時30分から午後7時の間、点灯しています。

昨年からはじめたイベントですが、患者さんからも好評だったため、今年は少し規模を拡大して設置しました。

シーガルニュース

ホームページを全面リニューアルしました

この度、当法人のホームページを全面的にリニューアルいたしました。

この度のリニューアルでは、利用者様に見やすく、分かりやすくお伝えできるホームページに改善いたしました。これまで以上に、使いやすいサイトを目指し内容を充実して参ります。今後ともよろしくお願いたします。

URL : <https://k-seagull.jp>

右のQRコードから閲覧可能です。



パソコン画面



スマートフォン画面



シーガルニュース

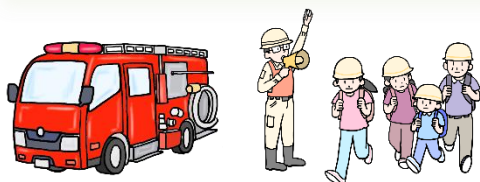
避難訓練を行いました

鳴門シーガル病院では定期的に避難訓練を行っております。7月13日（水）には火災を想定した避難訓練。10月12日（水）には地震や津波を想定した避難訓練を行いました。

火災を想定した訓練では、建物から離れた場所まで速やかに避難し、人数の確認や報告を行いました。その後、訓練用の消火器を使い、消火訓練を行いました。今年度入職した職員の中には初めて消火器を使用する方も多いため、優先的に訓練していただきました。

地震・津波を想定した訓練では、地震発生のアナウンスの後、安全確保行動を行います。その後、津波警報のアナウンスがあり、2階までスロープを通じて避難します。大きな地震で足場が悪くなることを想定し、障害物を車いすで通過する訓練も行いました。

また、防潮堤を閉め、津波の侵入を防ぐ訓練も行いました。この防潮堤はかなり大きく頑丈なのですが、大人ひとりでも動かせるようになっております。コロナ禍で職員のみでの訓練でしたが、皆真剣な表情で取り組んでいました。



シーガルニュース

心理実習生インタビュー

4月から7月まで鳴門シーガル病院にて、心理実習生さんの実習が行われておりました。徳島文理大学より来られ、日々熱心に実習に取り組まれてました。取材させていただいた7月25日（月）は鳴門シーガル病院での実習最終日であり、病院の印象などお聞きしました。

徳島文理大学大学院 2年生
村山あおい さん



（趣味は？）

大学ではダンス部に所属し、ヒップホップダンスをしております。また講師として、ジャズダンスを小学生に教えています。小学校1年生からクラシックバレエを始め、踊ることが好きです。

（今後・将来の夢）

気軽にカウンセリングに来ていただけるような環境づくりをしていきたい。また、専門職として活躍できる場を広げられるよう努めていきたいです。

（鳴門シーガル病院の印象は？）
船で行く病院で最初はビックリしていましたが、徐々に慣れてきました。実際の現場で実習ができて、良い経験になります。





皆様こんにちは。在職中は大変お世話になりました、松下です。もうそろそろ忘れられているかもしれないと思い、筆を執らせて頂きました。

鳴門シーガル病院に赴任したのは、私が30歳の時です。当時医局人事で「某病院とシーガル病院どちらがいい？」と聞かれ、福永院長の下で是非働きたいと希望していた私は、一にも二にもなく「シーガルで」と答えました。入職時は30歳だった私も、早くも46歳。院長が「ギャル」と言って下さったのは遠い過去になり、今や立派なおばさん、もしくはおじさん化したおばさんになってしまいました。

鳴門シーガル病院は家族よりも長く一緒に過ごし、私が一番生き生きできる場所だったと思います。何よりも船で行く病院。先日「ナニコレ珍

百景」でも紹介されましたが、鳴門シーガル病院は上空から見るとまるでリゾート地みたいですよ。毎日船を待つ時間、谷口先生にお借りした本を読むひとときがすごく落ち着ける時間でした。船に乗ると仕事モードに切り替えることができました。

この16年、いいことばかりではなく、つらいことも沢山経験しました。当初は妊活をしていましたが、子宝に恵まれず、また夫婦間でも危機が何度か訪れました。そんなときに私が相談するのは昔からの友達や両親ではなく、福永院長を始め、病院のスタッフの方々でした。私のとんでも話にも的確なアドバイスをして下さり、こうして夫婦でいられるのも病院の方々のおかげだと思っています。また低体重で頭の回ってなかった私をクビにすることなく、暖かく見守って頂きました。

おかげさまで今は、体重も戻り、元気でいられます。

最後に、しみりとなってしまいましたが、離れてみて鳴門シーガル病院の良さを実感する毎日です。患者様の病状だけでなく生活面まで考えている病院はそうそうありません。

またいつかシーガル病院に帰ってこられる日まで、岡山で精進いたします。16年間ありがとうございました。

松下 真美



【編集後記】

今年も残り少なくなってきました。来年もより多くのイベントを掲載して参ります。リニューアルしたホームページもよろしくお祈りします。

次号（『かもめ便り』第30号）は、2023年1月に発行の予定です。

広報委員会



鳴門シーガル病院 交通案内

- JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

- 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料) 運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航(10分～30分間隔)しています。

TEL088-688-0011(代)

